

信州ベンチャーコンテスト

Shinshu Venture Contest

あなたが創る! 信州の未来!

公開審査会

2023年12月9日(土)
12:00 ~ 18:00

会場 松本市中央公民館(Mウイング) 松本市中央1-18-1

主催 信州ベンチャーコンテスト実行委員会

構成団体 長野県、長野市、松本市、上田市、茅野市、信州大学、長野県立大学、公立諏訪東京理科大学、清泉女学院大学、長野工業高等専門学校、(株)八十二銀行、(株)日本政策金融公庫、KDDI(株)、デロイトトーマツベンチャーサポート(株)、(一社)21世紀ニュービジネス協議会、(公財)長野県産業振興機構、信州スタートアップステーション

【共催】 信濃毎日新聞社 / 八十二キャピタル(株)

【後援】 経済産業省関東経済産業局、総務省信越総合通信局、長野県教育委員会、(一社)長野県経営者協会、長野県中小企業団体中央会、(一社)長野県商工会議所連合会、長野県商工会連合会、長野県信用保証協会、長野県中小企業家同友会、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、NHK長野放送局、FM長野

【協力】 CF信州

【協賛】

The 21c NBC
一般社団法人21世紀ニュービジネス協議会

Tomorrow, Together
KDDI

D テンセン

ASK HD.

(株)価値創造研究所

MARUZEN 丸善食品工業株式会社

株式会社 システックス

株式会社 日商印刷

株式会社 ながのアド・ビュロ

LIFE・SEED

プログラム

12:00 ~ 開会式

12:10 ~ 13:00 高校生部門
(発表7分、質疑応答3分)

13:10 ~ 14:10 アイデア部門
(発表7分、質疑応答3分)

14:20 ~ 15:25 起業部門
(発表7分、質疑応答7分)

15:30 ~ 前年度受賞者の進捗紹介、
交流、休憩 / 審査会

16:15 ~ 結果発表・表彰式

17:00 終了(予定)

オーディエンス賞への投票

観覧者の皆様には、オーディエンス賞「信州を明るくするプラン」に投票することができます。右のQRコードでアクセスの上、投票してください。



アンケートにご協力ください。

今後のベンチャーコンテストの企画・運営の参考にさせていただきます。



アンケート用QRコード▶

審査員紹介



渡辺 毅

36ICT株式会社
代表取締役

2021年公立諏訪東京理科大学にて産学公連携スワリカブランド創造事業担当。茅野市、地元企業と協力して省電力広域無線(LPWA)を用いた地域課題の解決を目指す研究開発を担当。2022年同事業の成果を広く利用いただくために36(サンロク)ICT株式会社を創業、代表取締役に就任。大学発ベンチャー認定を受ける。自然環境、ヒト、動物、多様な対象への「遠隔見守り」をとおして社会貢献を目指す。



渡邊 圭

株式会社ナフィアス
代表取締役社長

1987年生まれ福島県福島市出身。2005年に信州大学に入学して長野県に拠点を移す。信州大学大学院総合工学系研究科生命機能・ファイバー工学専攻を修了(工学博士)。在学時よりナノファイバー量産技術の研究開発、用途開発等を専門として研究開発を続け、2015年に株式会社ナフィアスを設立。高性能ナノファイバー素材「NafiaS®」を用いて自動車用フィルタや高性能マスク、美容シート等の製品開発、製造販売を行っている。信州大学繊維学部にて特任准教授を兼任。



平野 吉直

信州大学 理事(教学担当)
副学長

信州大学教育学部教授、信州大学評議員、信州大学教育学部長を経て、平成27年10月から現職である信州大学理事・副学長、信州大学教育・学生支援機構長。現在は、教学担当として、学位プログラムごとの組織的な検証とそれに基づく具体的な教育改善に向け、教育の内部質保証の実質化に注力。また社会の多様な問題に立ち向かう人材を育成するためのリベラルアーツ教育に力を注ぎ、共通教育や本学独自の全学横断特別教育プログラムの充実を図っている。



濱田 州博

公立諏訪東京理科大学
学長

兵庫県神戸市生。高校卒業後、東京で9年間、大学・大学院生活。1年余りつくば市にある研究所で導電性高分子の研究に従事した後、1988年6月より長野県在住。上田市にある信州大学繊維学部で、繊維化学、特に、染色や機能性付与に関する教育研究に従事。その後、松本市の信州大学法人本部で6年間、大学経営に携わった。長野県から委嘱され、長野市で1年半、個人事業主としてプロ人材の転職支援を行った後、2023年4月より現職。



井浦 慶久

長野県産業労働部
経営・創業支援課 課長

産業労働部産業政策課などを経て、2023年4月1日から経営・創業支援課長に就任。少子高齢化が進み社会の活力低下が懸念される中、長野県を元気にするためにはイノベーションによる創業を増やすことが重要。長野市、松本市に設置している「信州スタートアップステーション」を中心とした戦略推進部長就任、翌年2月設立の「Open to Start Up」の構築に取り組んでいる。



宮川 剛

日本政策金融公庫長野支店
国民生活事業 事業統轄

1997年4月国民金融公庫(現 日本政策金融公庫)入庫。その後、横浜西口支店国民生活事業 融資第三課長、秘書室 秘書課長、横浜支店国民生活事業 副事業統轄、大阪南支店国民生活事業 筆頭副事業統轄を歴任。2022年3月より長野支店国民生活事業 事業統轄として、日々、小企業や創業者への支援に取り組んでいる。



伊藤 秋成

株式会社八十二銀行
営業渉外部 部長

長野県内の営業店勤務や本部勤務、白馬支店長を経て2022年6月より現職。事業者のお客さまに対するコンサルティング営業、地域活性化や産業振興、創業支援などの業務を統括。

部長と一丸となって「お客さまのお役に立つ」ために日々奮闘している。



江幡 智広

KDDI株式会社
経営戦略本部 副本部長

1993年、第二電電(現KDDI株式会社)入社。ポータルビジネス部長就任以来、国内外のパートナーとのビジネスデベロップメント中心に活動。2011年ベンチャー企業との事業共創推進を目的とした戦略推進部長就任、翌年2月設立の「Open Innovation Fund」活用の投資を含む事業提携の責任者。NAVITIME、Google、GREE、Facebook、gitee、LUXA、creema等に事業・出資提携手掛ける。2013年インキュベーションプログラム「KDDI×Labo長」に就任。2018年KDDIのグループ会社medibaの代表取締役就任、2022年より現職。



佐藤 麻美

一般社団法人21世紀ニュービジネス協議会
理事

新規事業、ニュービジネスの立ち上げに興味を持ち、ニュービジネス協議会に入会。地域に根ざした取り組み、女性の起業についての支援に関わる。女性ならではの視点からのアドバイスを実践。

高校生部門

1 小林 珀琢、島田 琢己

BikeHub

近年、コロナ等の影響からバイクブームが拡大しています。しかしバイクライフは楽しい一方、危険で不便な側面も。生身でスピードが出やすく、予測不能な峠の天気や思いがけないトラブルがライドの楽しさを損ねます。

そこで、僕たちは長野県を訪れるライダー達に安全と満足感を提供するため、ライダー専用のSNSを立ち上げます。位置情報交換やエリアを絞った質問機能を駆使し、一人ひとりの冒険を共有。バイクイベントや他ライダーのカスタマイズ紹介も行います。さらにはバイクスポット付近のローカル飲食店を紹介し、バイクライフをより豊かに彩ると同時に飲食店の再起をサポートします。これが僕たちの考える新時代のバイクライフのカタチです。

2 宮下 大輔

目の不自由な人が衝突を防ぐベルト

あなたは白杖を使用している人がぶつかっている姿を目撃したことがありますか？私はよく目撃するたびにこの現状をどうにか解決できないかと考えていました。

そこで思いついたのが目の不自由な方が人や障害物との衝突を防ぐためのベルトを製作することです。仕組みとしては高校で学んだ障害物を検知するセンサーをベルトに取り付け、センサーが障害物を検知したらイヤホンから音で教えます。このような製品があれば目の不自由な方々がトラブルや事故を回避することができます。

この商品が製造・販売されることで、目の不自由な方々の行動範囲を広げる事ができ、より安全にお出かけができる画期的な商品です。

3 牛山 陽日、阿部 高哉、小川 恭介

茅野を寒天商品で盛り上げたい
～君に会えた輝石～

私達は放課後のSTK進学探究会での「地域探究」の授業での一環で商品開発を通して地元の茅野市の経済活性化につながるような商品を開発するために活動してきた。しかし、商品開発と言っても何をもって商品を作ればいいのか思い浮かばず沢山話し合いを重ね、その結果茅野市で有名な質の高い寒天に着目し使用することにした。そうすれば長野県特に茅野市を代表するお土産ができると同時に寒天を多くの人に知ってもらえると思ったからだ。上記を茅野商工会議所に相談し、お店マッチングに協力していただきアニバーサリーロールとの協力が実現した。その後、試作品を作るなどの活動を通して200箱限定での商品開発へとつながった。

4 河口 陽斗、牛谷 雅、石川 温都

クラリン～地域を「教室」でつなぐサービス～

「クラリン」は、地域の絆を再構築するプロジェクトです。最近では、地域住民同士のコミュニティの希薄化が進み、それが地域全体の安全性や子供たちへのサポート、災害時の対応に影響を与えています。この課題に立ち向かうため、「クラリン」では地域の高齢者が自分の得意なことを子供たちに「教える」ことを通じて、絆を再生させます。高齢者はクラリンのデータベースに登録し、クラリンが提供する教室やイベントに参加できます。地域の子供たちは学校や通学路の掲示板を通じて情報を得て、ワンコインで教室に参加できる仕組みです。これにより、地域住民同士の交流が促進され、コミュニティの力が強化されます。

5 水谷 俊介

自転車危険予測アプリ Birds eye びーちゃん

小学校高学年を対象にした、自転車危険予測アプリの開発と普及、アプリを通じて事故のない社会を目指す事業です。僕が提案する「自転車危険予測アプリBirds eye びーちゃん」は、走行前のヘルメット装着の確認、出会い頭の衝突事故、スピード出し過ぎによる事故の危険を予測する機能に加え、保護者と子どもの会話が生じる仕掛けがあります。日常的に家庭で交通安全について触れる機会が増えるように工夫された仕掛けがあるため、幼い頃から交通ルールや知識を習得することができ、将来的な交通事故の抑制に役立つようになることが特徴です。令和5年4月にアプリの機能について特許を取得しています。

アイデア部門

1 宮田 三輝

地域の『つくりたい!』を叶える
再生電動工具レンタル&DIYサポート事業

本プランは壊れてしまった電動工具や使えなくなった電動工具を地域から回収し、それらを再び使えるように修理してレンタルする事業です。また、レンタル事業と共に地域の空き家をDIYして移住したい人たち、地域材や古材などでDIYをしたいが少し不安を感じている人たちのサポートをするサービスも行います。

地域で捨てられてしまうはずだった電動工具を利活用し、必要な時に使えるレンタル工具とすること、未経験者でも自分でDIYができるサポートサービスを組み合わせることで、地域でのDIYプレイヤーが増え、空き家のセルフリノベーションが広がることで、空き家課題の解決や移住定住の促進にも繋がる事業になると考えます。

2 竹野 勝己

障がい者工賃3万円への道程
「カレーライスを土から作る」

障がい者就労支援の一環として農業に取り組む障がい者福祉施設が、地域の食堂(レストラン、カフェ、社員食堂や給食含む)と協力し、社会参画、市場参入を推進する活動です。

カレーライスを作ります。
ただ土から作ります。
福祉施設の農場で、カレーライスのレシピに基づいた食材となる作物を栽培し、地域の食堂に持ち込み、その食堂で調理されてお客様に提供されます。

この活動を通して地域の障がい者福祉施設と食堂が行います。「カレーライスを土から作る」、というシンプルですがインパクトのある活動を協力しながら実施し、情報発信力を高め認知度をあげ、活動を拡げ大きくし、係わる障がい者を持つ人たちの工賃増へと繋げていきます。

3 長澤 卓彦

コミュニティ サポート カンパニー
(自治会お助け商会)

人口減少や高齢化、住民意識の変化などを背景に、全国的に自治会(町内会)などの地域活動の担い手の不足が問題となっている中、自治会活動の持続には業務内容の見直しが必要となるとしています。

本プランは、自治会業務をスリム化し、持続可能な仕組みづくりをサポートするための、業務の有償請負事業(①外注委託の仲介=アウトソーシングアシスト事業 ②役職の秘書及び補助=アシスタントサービス事業)の提案です。

4 小田川 一弘、西ノ原 龍馬、濱 諒生、安藤 秀一、Ko Seungwoo、上運天 香太郎

ご飯とコーヒーそしてトイレでほっと一息
～携帯トイレ普及に向けた山めし、トイレの
投稿型コミュニティ作りのアプリを通じたプラン～

私たちは計1025件のアンケートなどを行い、多くの登山家から山道に設置されたトイレがなくて困ったという悩みや、登山中に休憩するスペースがどこかわからないという悩みを聞きました。

このような悩みの改善に向けて、私たちは「テント型ブース」を用いた携帯トイレ使用のための環境づくりを行います。さらに登山の楽しみの一つである「山ご飯」というコンテンツを活用しながら、トイレの場所や休憩スポットそして、山での楽しみ方を登山家同士で共有できるアプリ(サイト)の開発を行います。

私たちはトイレに困ることのない快適な登山環境を整備し、長野県の観光事業のさらなる発展に尽力します。

5 泉谷 惇、上野 麟太郎、小谷 泰士

地域体験型移動式ショートステイの提案

退院後の社会福祉サービス体制の充実化に国は力を入れているものの、未だ多くの問題が残っており高齢者の前向きな利用に結びついていない。こうした問題を解決するため、我々は長野県の魅力的な観光資源を活かした次世代ヘルスケア事業「地域体験型移動式ショートステイ」を提案したい。長野県内での様々なアクティビティを通じて、退院後の生活に「生きがい」を感じてもらいつつ「健康増進」を図っていくことが本事業の目的である。都市部の人をうまく県内へ呼び込み、過疎地域をはじめとする各地域の活性化につなげていく。本事業には、利用者だけでなくサービス提供者側の生活の質(QOL)の向上さえも見込めるといった魅力が詰まっている。

起業部門

1 白鳥 李音、石坂 総徳、浦野 亜嵐

長野県特化SNSマーケティング事業『AtoZ』

AtoZは、長野県特化のSNSマーケティングを行う、平均年齢21歳のZ世代チーム。長野県内にある約10万もの事業者に対して、県内に影響力を持つインフルエンサーによるPR支援や、ショート動画に特化したSNS運用代行を提供する。既存の広告代理店やメディア媒体と比較し、ターゲットにより近く、早く、かつ安価に、企業の人事・採用・広報のサポートを実現する。

2 松本 寿治

【nou×nou(ノウノウ)】
農家とデザイナーをマッチングする
レベニューシェア型デザイン伴走サービス

当サービスは、高品質な農産物を生産する地域農家の「稼ぐ」と「伝える」の課題を解決します。地域の農家とデザイナーをマッチングし、農家にデザイナーが伴走することで農家により生産に集中。畑にいる時間を減らすことなく、高品質な農産物の商品価値やブランディングを改善。農家の収益力が向上する事を目的としています。ビジネスモデルとしてレベニューシェア型(成果報酬型)を採用する事で、農家は初期のリスクを抑えた上でデザイナーとの協働を実現でき、結果として両者の収益は増加。地域の活性や経済的な発展。さらに担い手・後継者不足の課題に貢献することができます。

3 池野 太心

3DCG質感再現エンジン
「The SHITUSKAN」を用いた産業創出

「The SHITSUKAN」は、実物の視覚的質感を高精度に再現するための新しい3DCGレンダリングエンジンです。このエンジンは分光技術に基づく物理ベースの計算を用い、光沢、陰影、繊細なテクスチャを精緻に表現します。この実現には色彩工学とコンピュータグラフィックス技術の結合が不可欠です。ゲームや映画の従来のCG技術とは異なり、実物の質感再現に特化しており、新しい応用分野を開拓している点で、競合が少ないという大きな強みがあります。本プランでは、このエンジンをさまざまな産業分野への応用として、Eコマース、文化財、商品設計支援、医療分野などに展開することを提案します。この技術の導入により、前例のない質感再現を通じたビジュアル体験を可能にすることで、新たな社会的価値を創出します。

4 中村 玄徳、大谷 優綺、大山 真賢

イチゴの新たなブランド化手法

我々の技術は、水やりの温度をコントロールすることによる、イチゴの温度管理です。この技術を用いることで、イチゴの新たなブランドを創成します。イチゴでは「品種」でのブランド化が行われていますが、我々の技術を用いることで、「品種×栽培方法」によるブランド化を提案します。

また現在、エネルギー価格の高騰が発生していて、ハウス栽培では大きく影響を受けています。イチゴ栽培においても例外ではなく、暖房費の増加が、農家の頭を悩ませています。我々の技術を用いることで、暖房費の削減を行います。それと同時に、栽培データを集積し、栽培管理ソフトウェア[Nereus(ネレウス)]を開発、そして販売し、栽培の効率化を図ります。

5 高桑 雅弘、原出 幹太、能村 嘉乃

病院の外で「健康のその先」をつくる！
医療者が担う飲食店「クリニックレストラン」

クリニックレストランはウェルビーイング*を実現する飲食店です(*身体が元氣、心が平穏で、社会的側面でも満足を感じる身体・精神・社会的健康を基盤に、人生の充足感に繋がる選択や活動を個人が実現できている状態)。世界中の研究で健康効果が証明される地中海食を、イタリア現地で料理人経験をもつ医師と栄養士が監修し提供します。コミュニケーションを中心に据え設計された店舗で、心身の健康情報を提供できる医療・福祉の経験者が接客にあたり、世の病院・福祉施設サービスでは不足する情報を届けます。通うことで地中海食で身体が元氣になり、健康の不安を解消でき、地域におけるつながりがつくれ、ウェルビーイングを達成できます。初店舗を長野県小諸市で2024年4月1日開業予定。